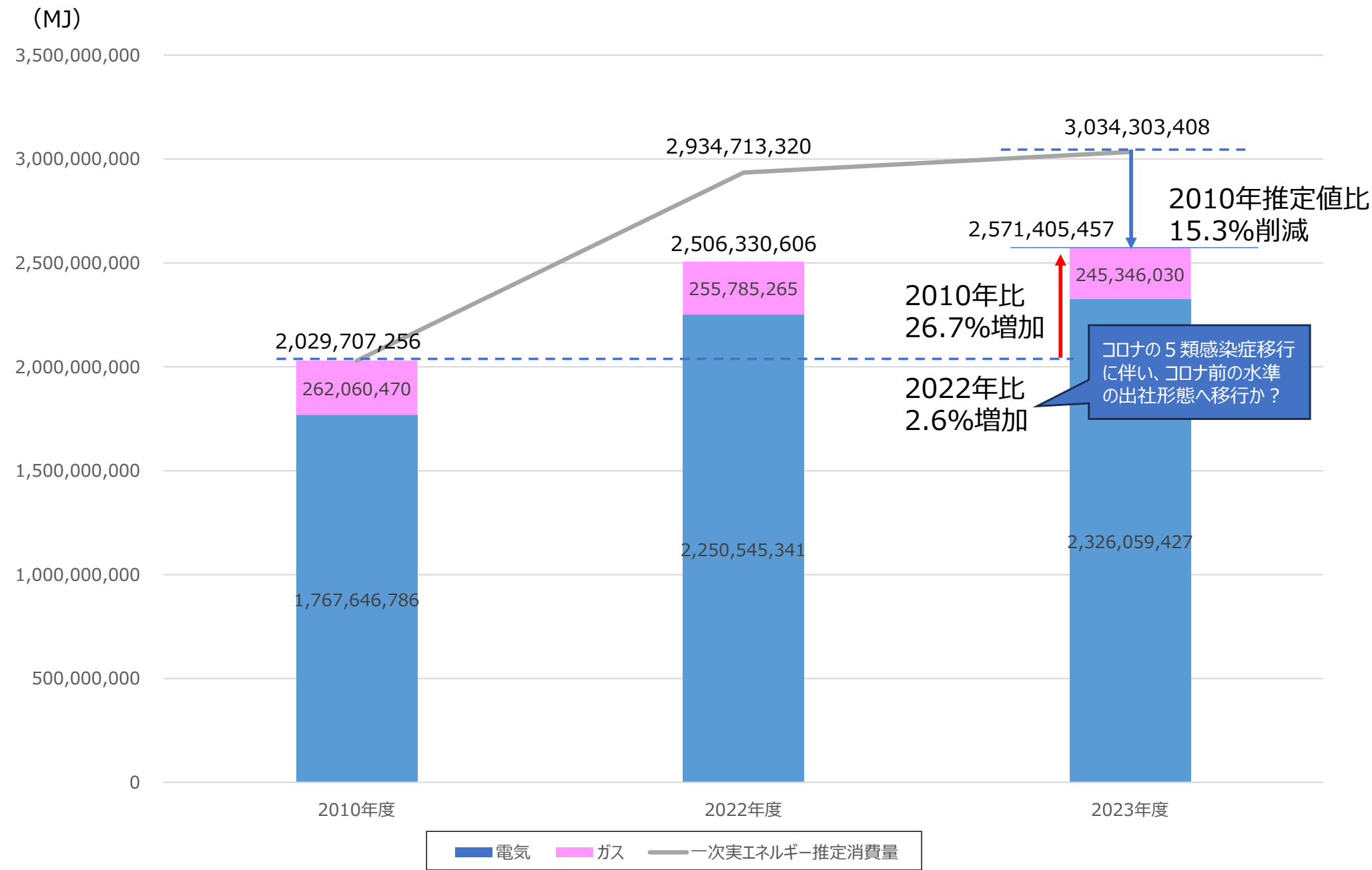


OBP簡易AEMS報告

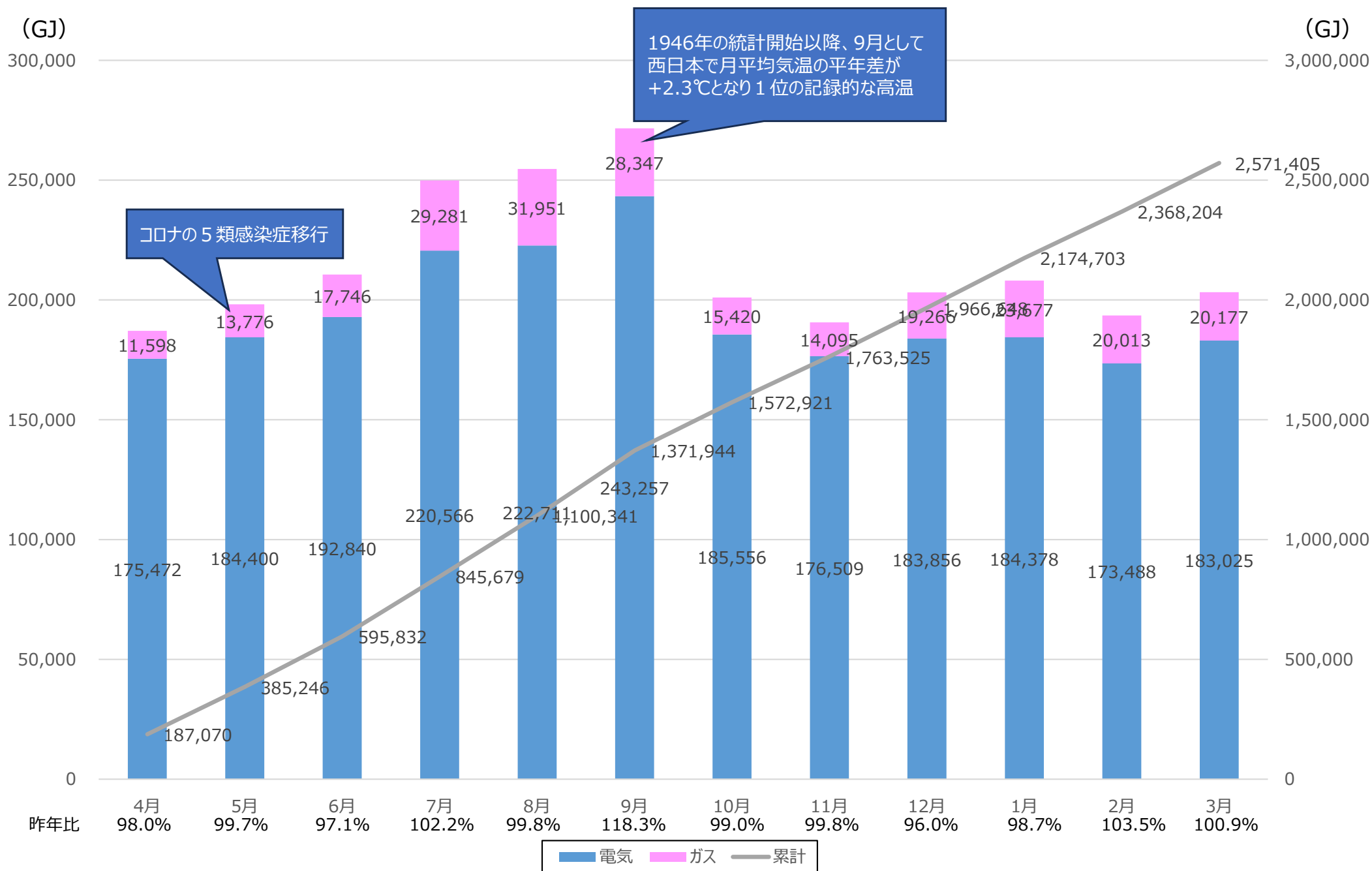
- ・2023年度実績値
- ・2010年からの経年変化について
- ・OBP簡易AEMS事業の総括

2025.3.12 運営委員会

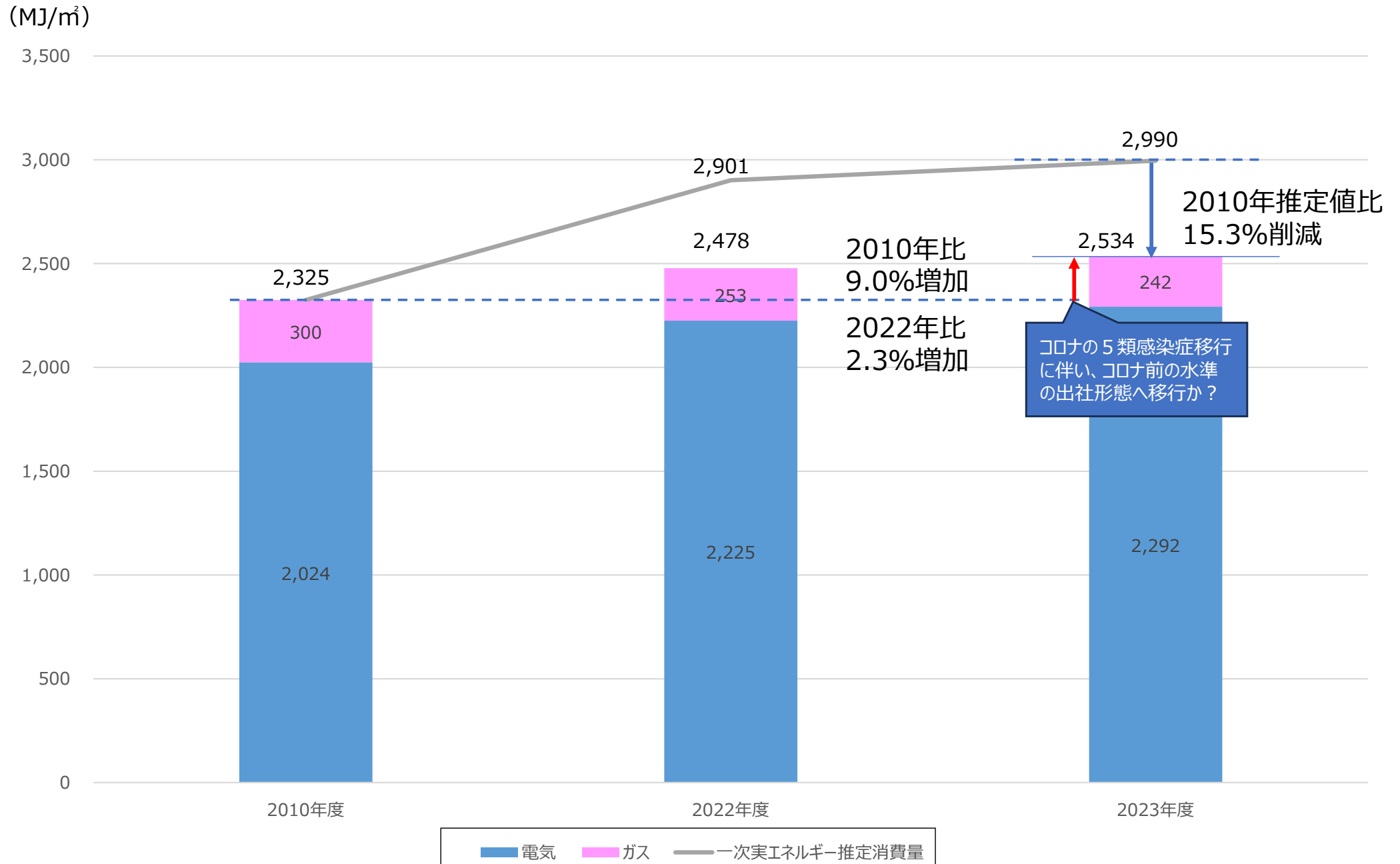
2023年度（2023.4～2024.3）年間1次エネルギー消費量



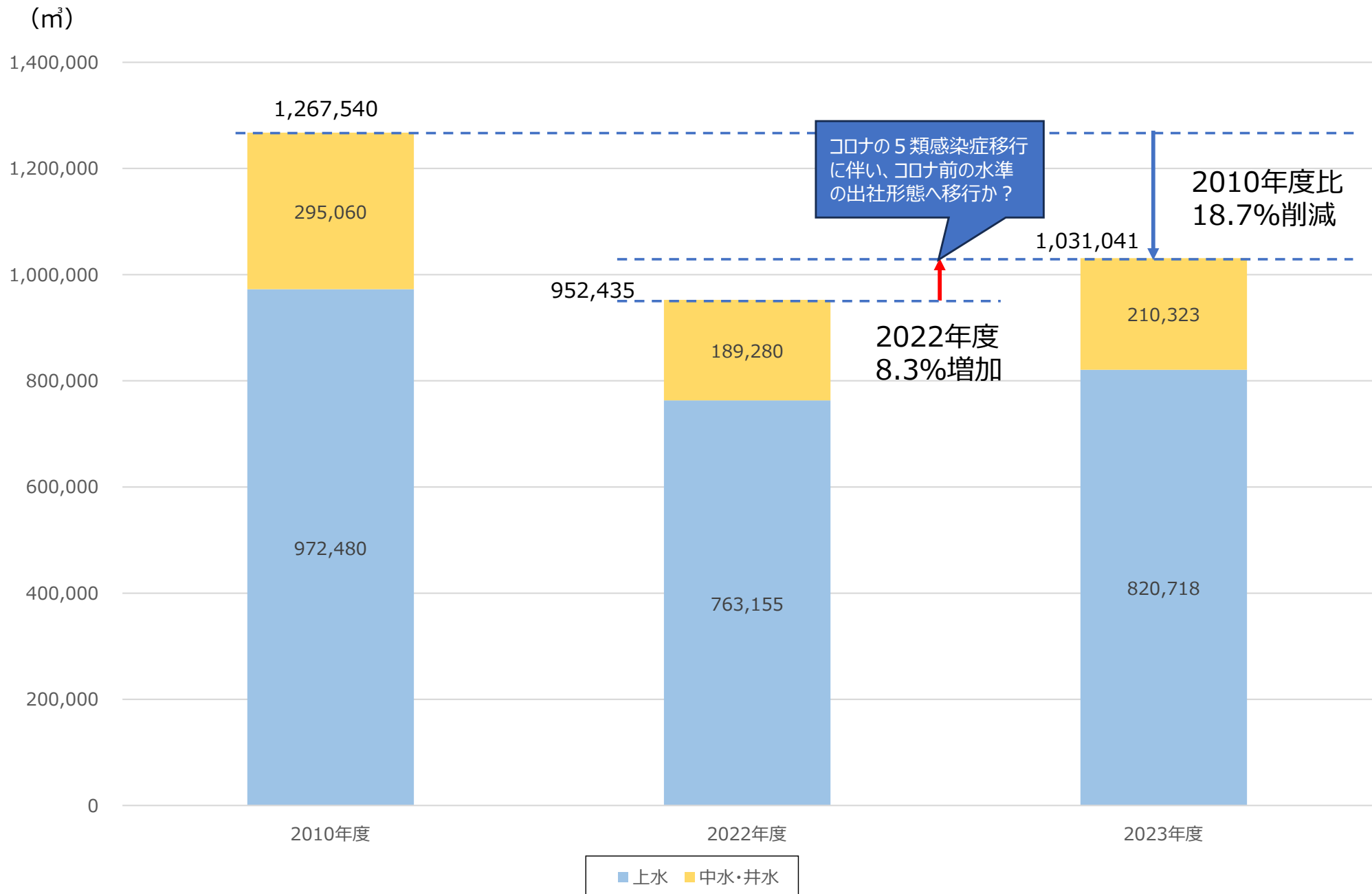
2023年度（2023.4～2024.3）月別 1 次エネルギー消費量



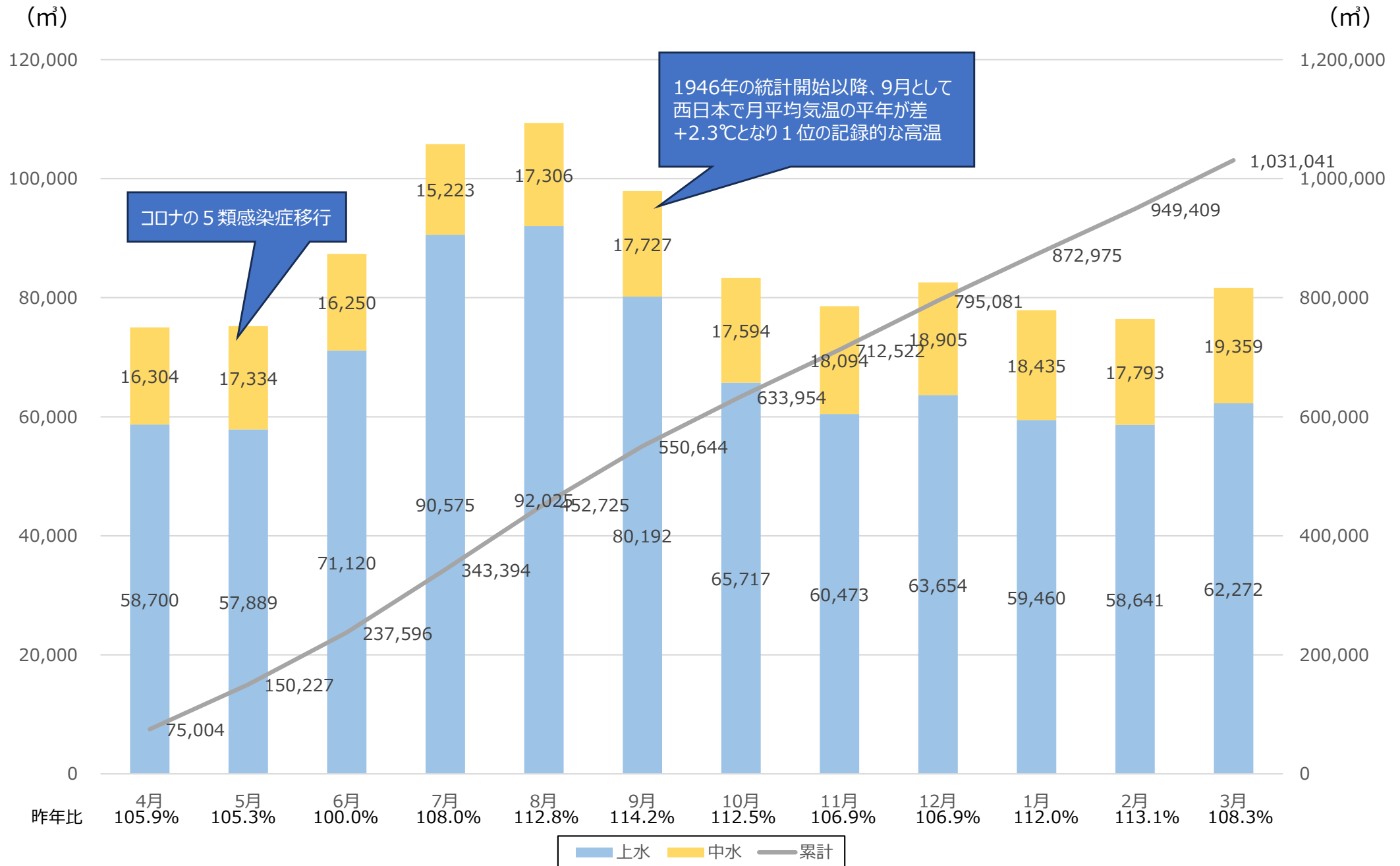
2023年度（2023.4～2024.3）年間1次エネルギー消費量原単位



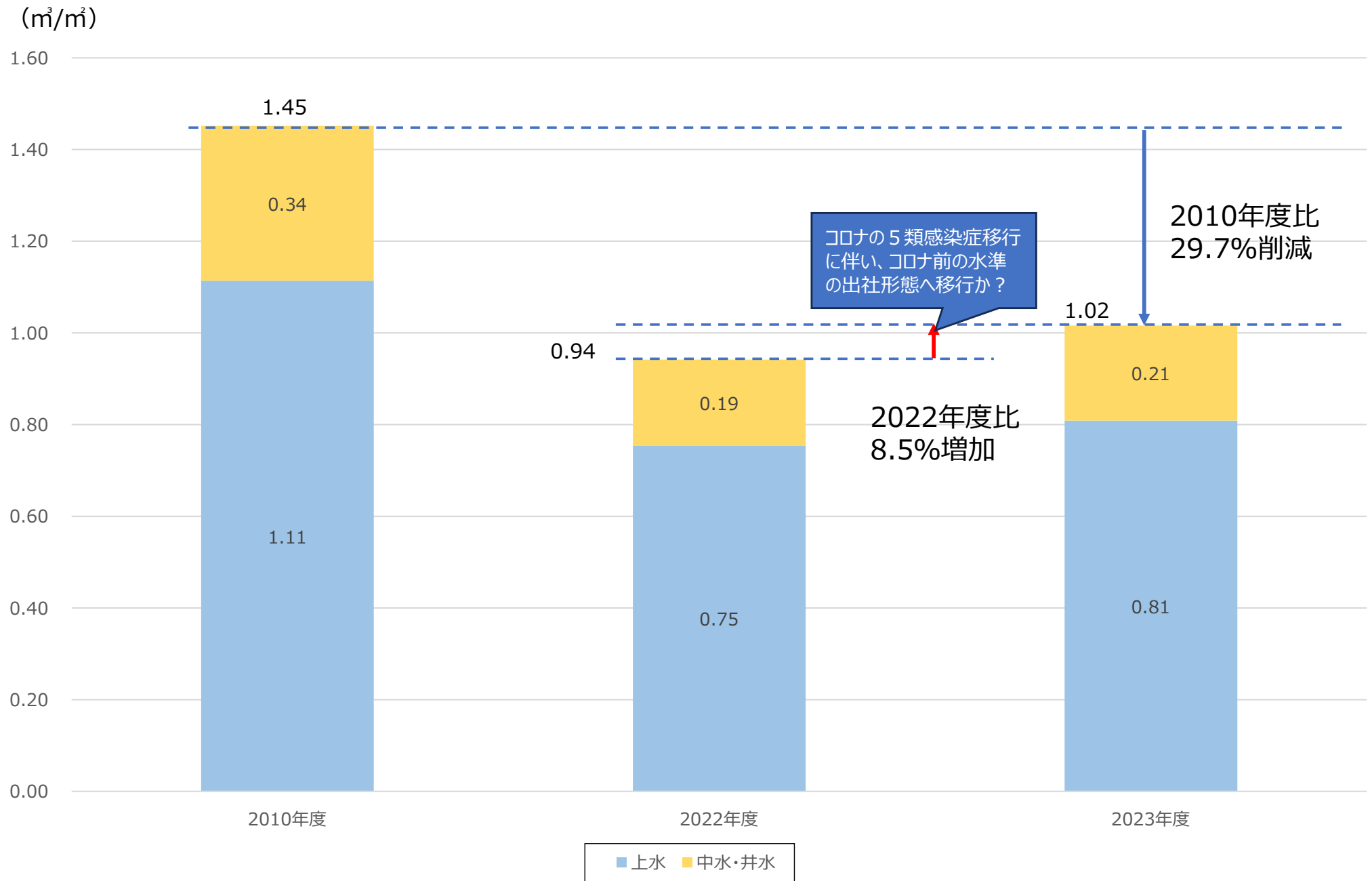
2023年度（2023.4～2024.3）年間水使用量



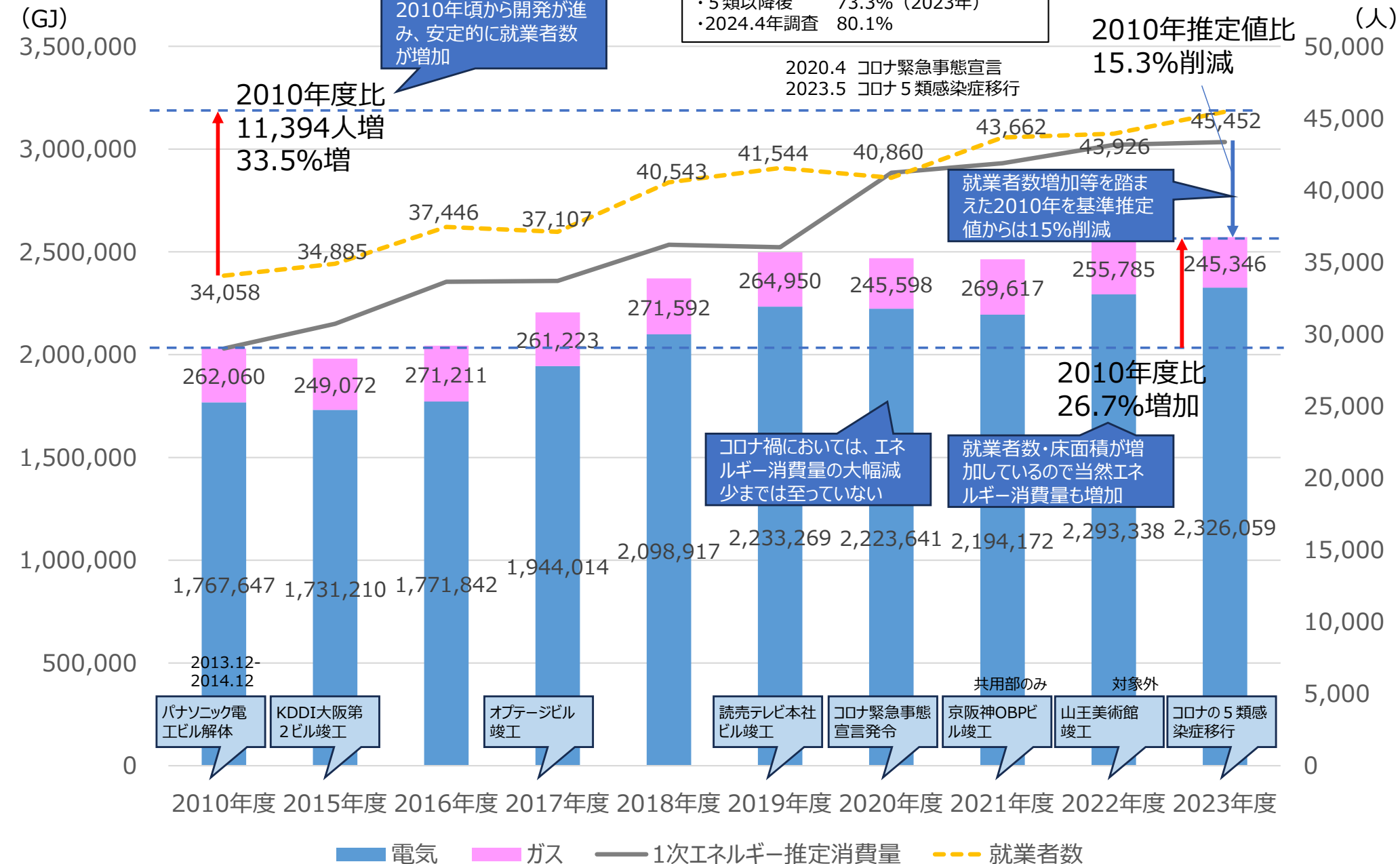
2022年度（2022.4～2023.3）月別水使用量



2023年度（2023.4～2024.3）年間水使用量原単位

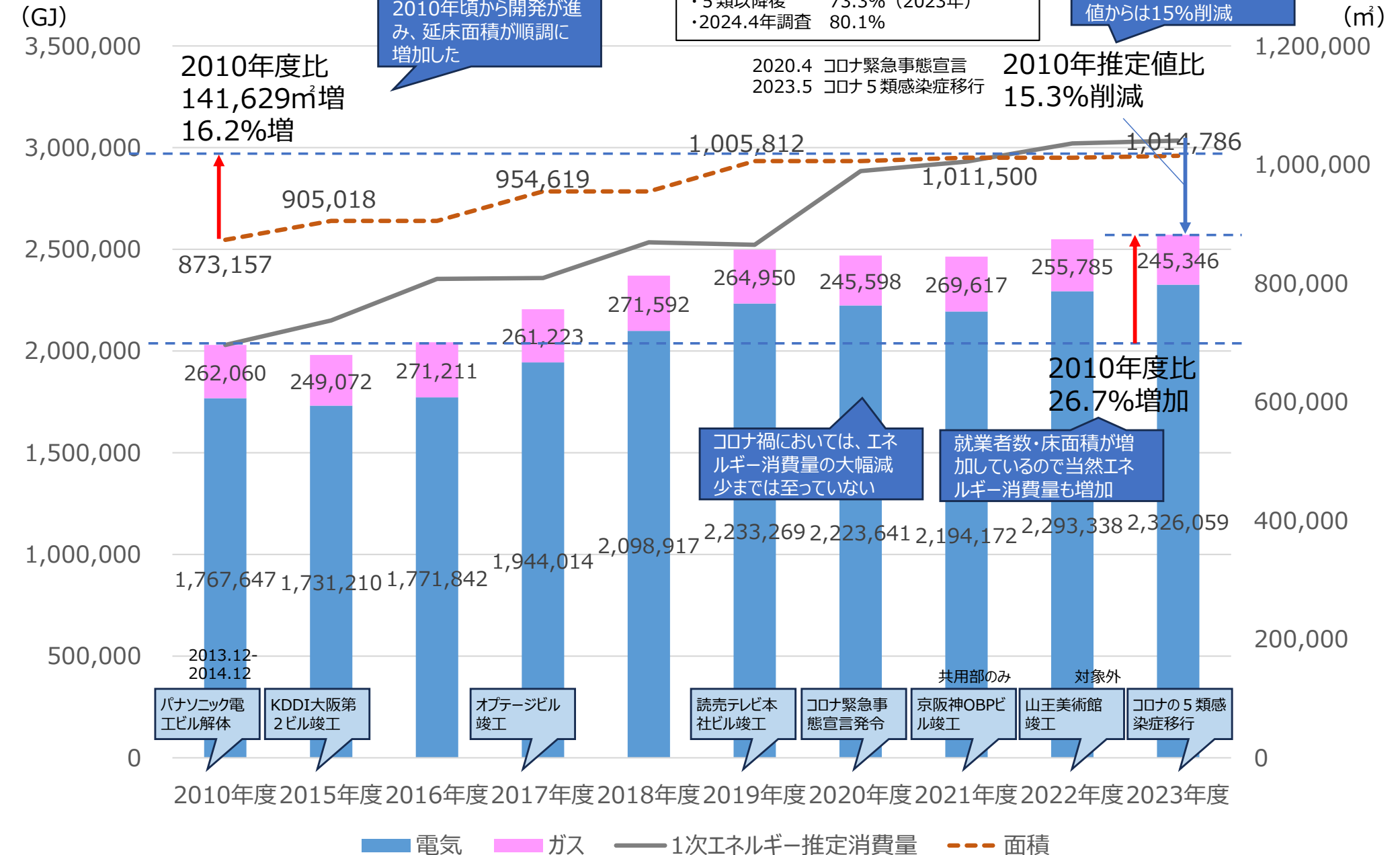


年間1次エネルギー消費量 と就業者数の推移



CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

年間1次エネルギー消費量 と面積の推移

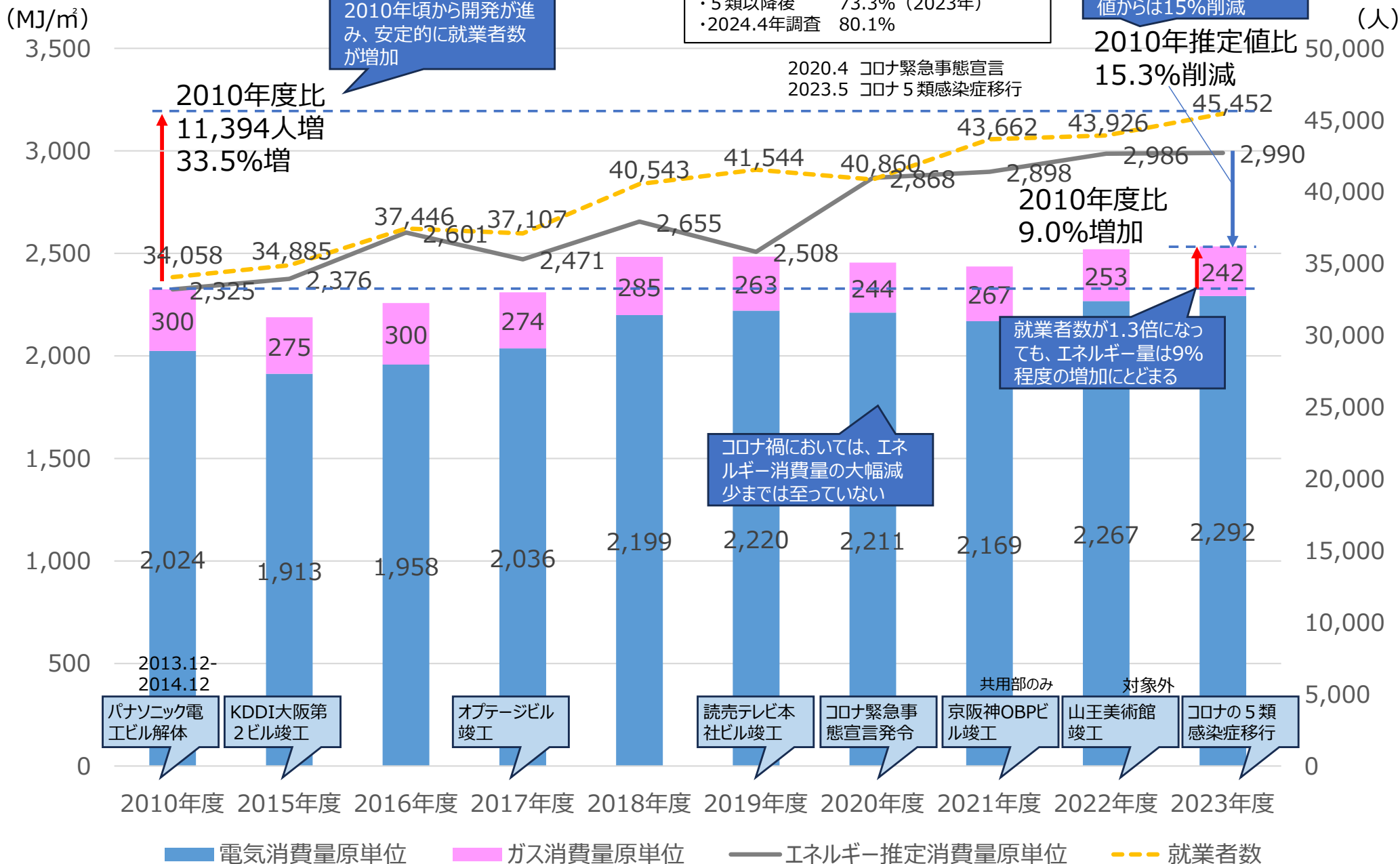


イトーキ中央研究所調べ (2024.5.23発表)
毎日出社する人の割合

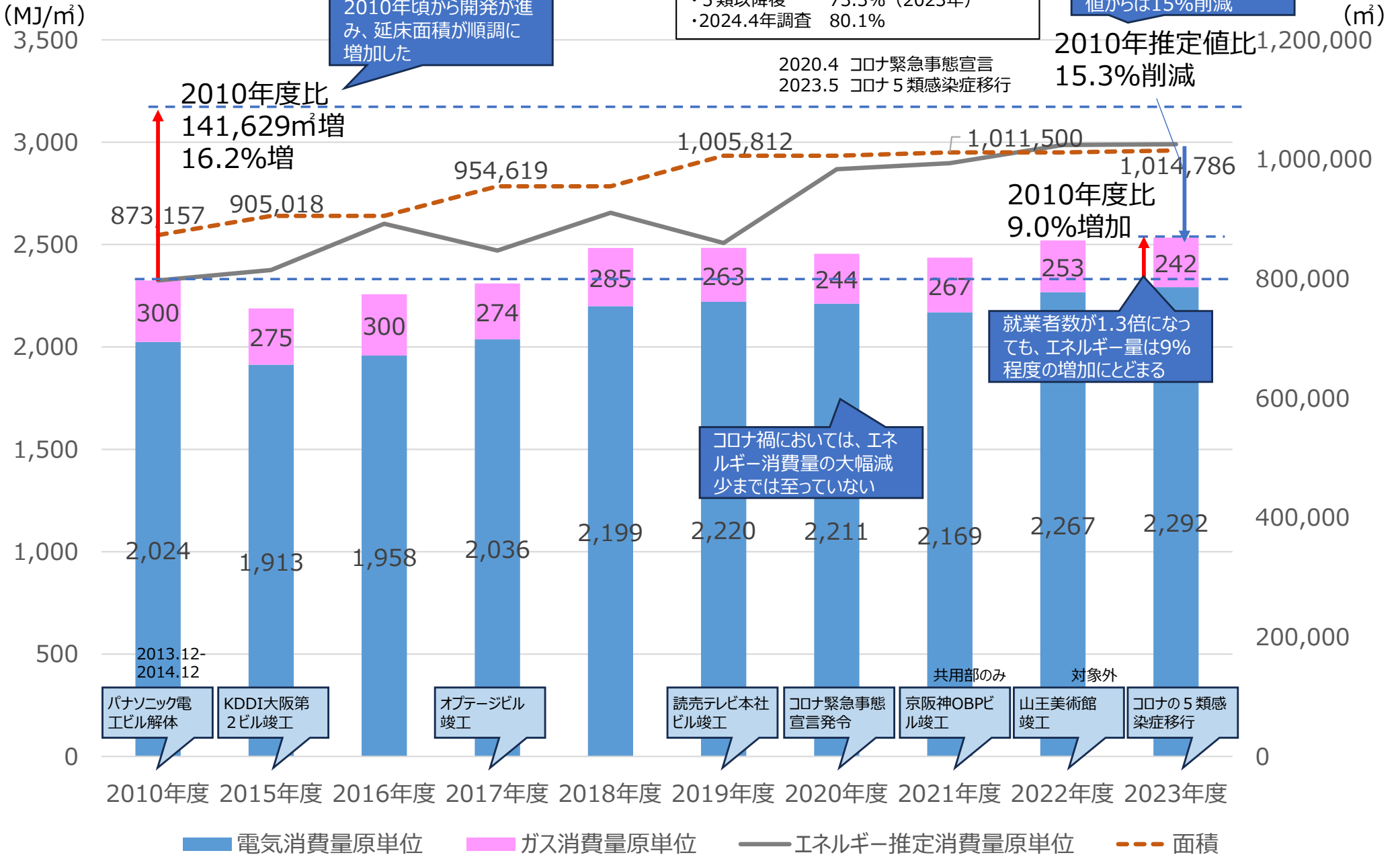
- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3% (2023年)
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

年間1次エネルギー消費量原単位 と就業者数の推移



年間1次エネルギー消費量原単位 と就業者数の推移

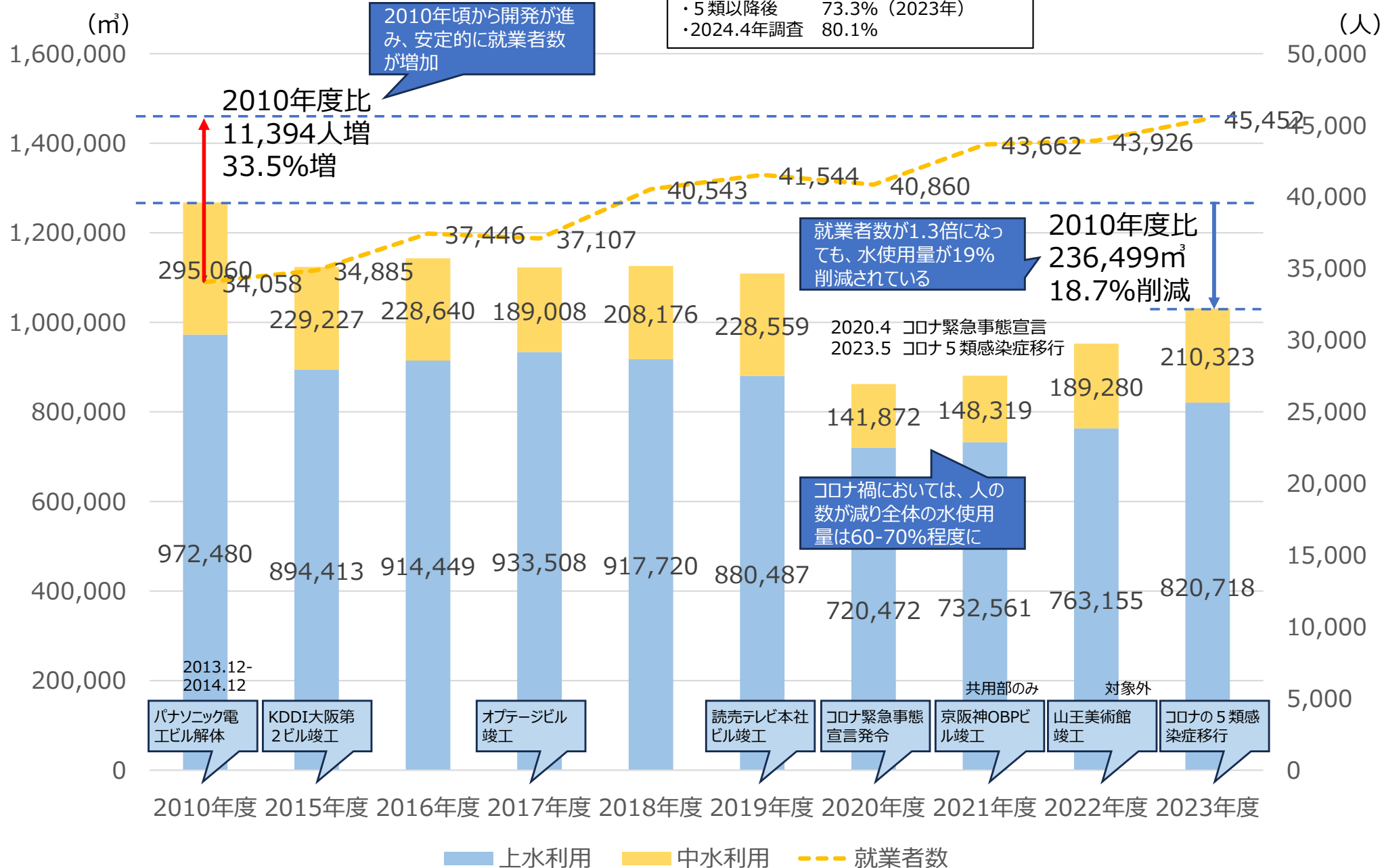


水使用量と就業者数の推移

イトーキ中央研究所調べ（2024.5.23発表）
毎日出勤する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3%（2023年）
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

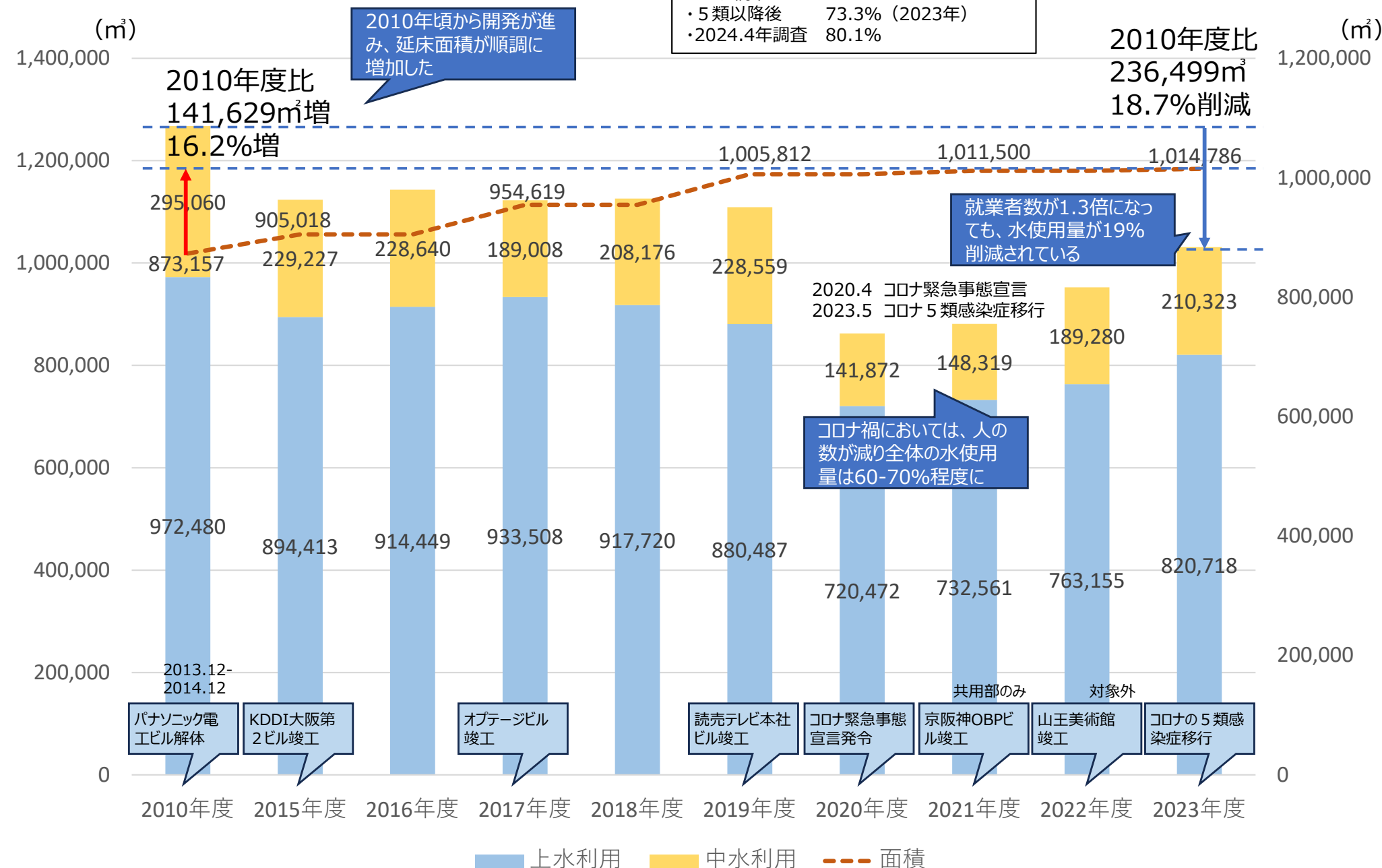


イトーキ中央研究所調べ（2024.5.23発表）
毎日出勤する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3%（2023年）
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

水使用量と面積の推移

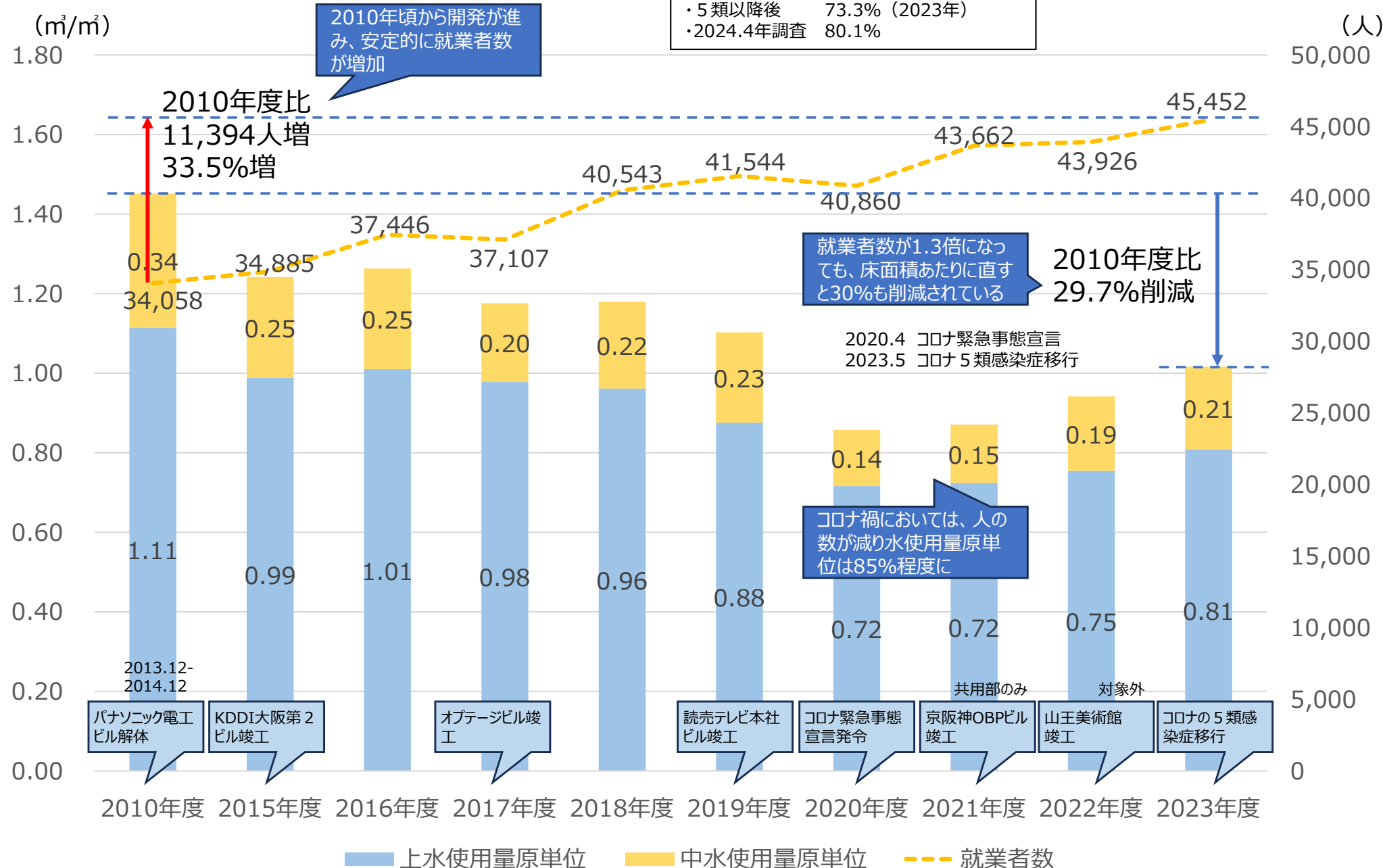


イトーキ中央研究所調べ（2024.5.23発表）
毎日出社する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3%（2023年）
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

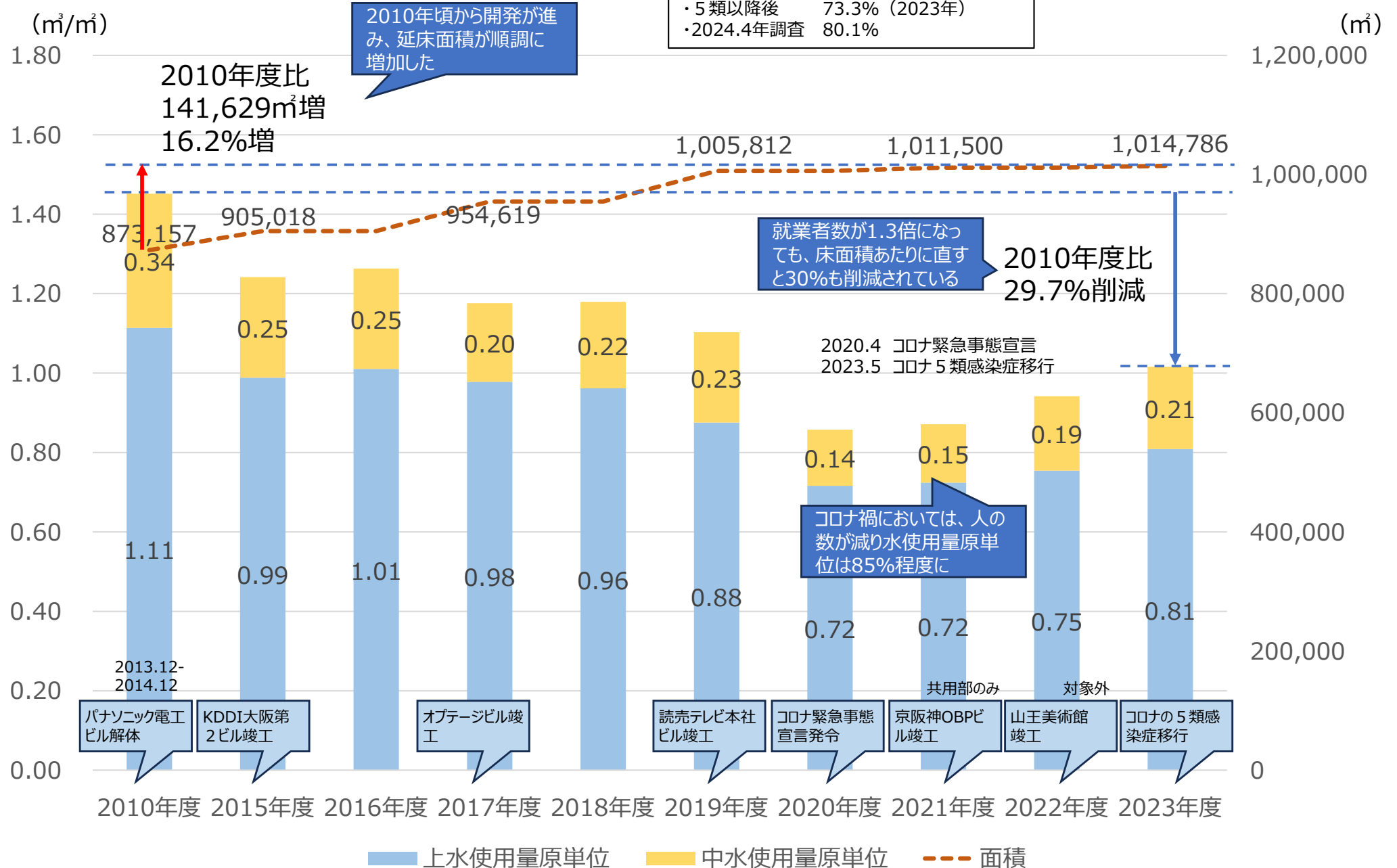
水使用量原単位と就業者数の推移



イトーキ中央研究所調べ（2024.5.23発表）
 毎日出社する人の割合
 ・コロナ禍前 83.2%
 ・コロナ禍中 58.4%
 ・5類以降後 73.3%（2023年）
 ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

水使用量原単位と就業者数の推移



OBP簡易AEMS事業（OBP全体）の総括

□OBPの開発状況

- ・就業者数としては、2023年度までに約11,400人増加（2010年比33.5%増）
- ・延床面積としては、2023年度までに約141,600㎡増加（2010年比16.2%増）

□1次エネルギー消費量

- ・消費量としては、就業者の増加や延床面積の増加、エネルギーを消費する情報通信機器関連の施設の増加を背景に2023年度までに2010年比26.7%増加している
- ・消費量原単位としては、就業者の増加やエネルギーを消費する情報通信機器関連の施設の増加を加味されていると考えられるものの、2023年度までに2010年比9.0%の増加にとどまる
- 就業者数増、延床面積増も建替えや各ビルでの設備機器の更新等によりエネルギー使用削減がはかられている
- 2010年をベースに、就業者数やホテル宿泊者数等の増加要因を入れた2010年ベース推定値と比較すると、消費量及び消費量原単位共に15.3%程度削減されていると考えられる
- ・コロナ禍においては、数パーセント程度の減少にとどまっており、人が少なくなったとしても1次エネルギー消費量が大きく減る運用はできなかったと考えられる

□水使用量

- ・水使用量としては、2023年度までに2010年比18.7%減少している
- ・水使用量原単位としては、2023年度までに2010年比29.7%減少している
- 就業者数増、延床面積増も建替えや各ビルでの節水型設備機器やトイレの導入等により水使用量が大幅削減されている
- ・コロナ禍においては、エネルギー消費量とは対照的に全体の水使用量は60-70%程度（原単位ベースでは85%程度）と大幅に減少しており、出社率やホテル宿泊者数等と連動した動きをしているものと推察される

□総括

- ・2010年以降、10年以上にわたってエネルギー消費量及び水使用量についてエリアとして調査・比較検討を実施してきたが、OBPの開発や就業者数との関係性、コロナ禍におけるエネルギー消費量・水使用量の動きを把握することができた
- ・一方で、現状では大幅にエネルギー消費量・水使用量を減らす施策はすでに打たれている状況と言え、今後は次の建替えや大幅な設備更新をにらみながら、5年置き程度の定期的にエリアとしてのエネルギー消費量・水使用量の把握を推進したい

年間1次エネルギー消費量 と就業者数の推移（単体オフィスビルのみ）

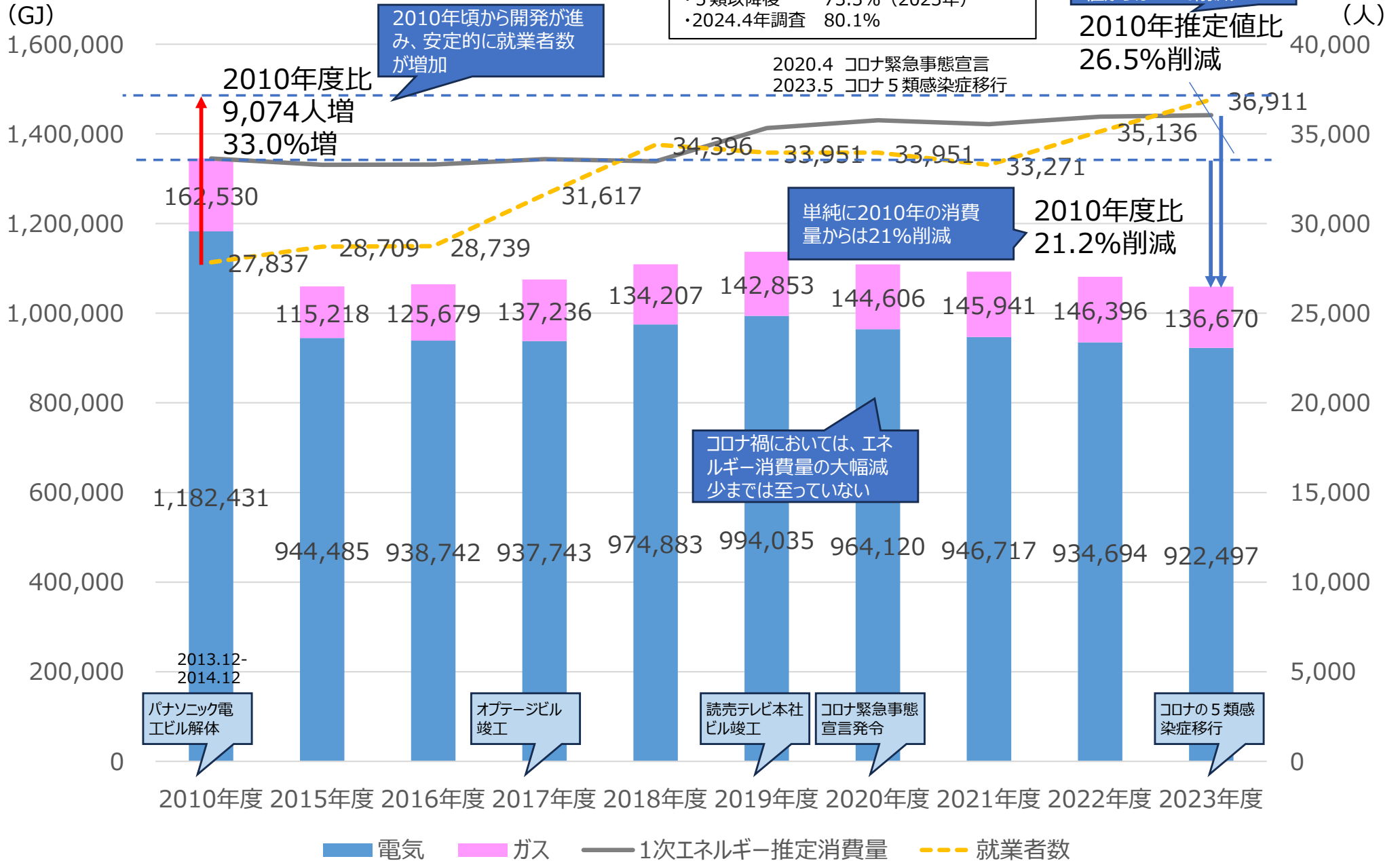
イトーキ中央研究所調べ（2024.5.23発表）
毎日出社する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3%（2023年）
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

就業者数増加等を踏まえた2010年を基準推定値からは27%削減

2010年推定値比
26.5%削減



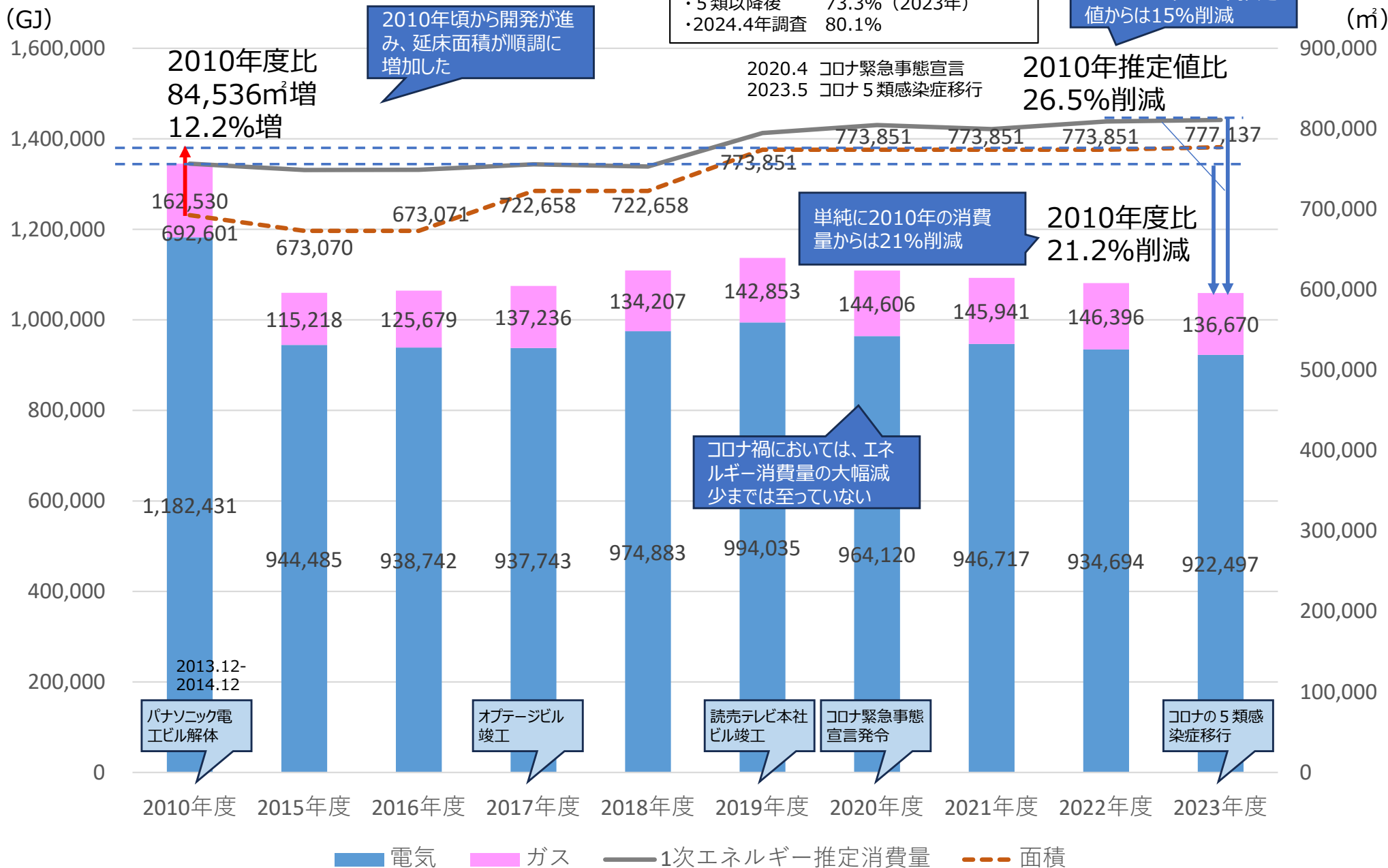
年間1次エネルギー消費量 と面積の推移（単体オフィスビルのみ）

イトーキ中央研究所調べ（2024.5.23発表）
毎日出社する人の割合

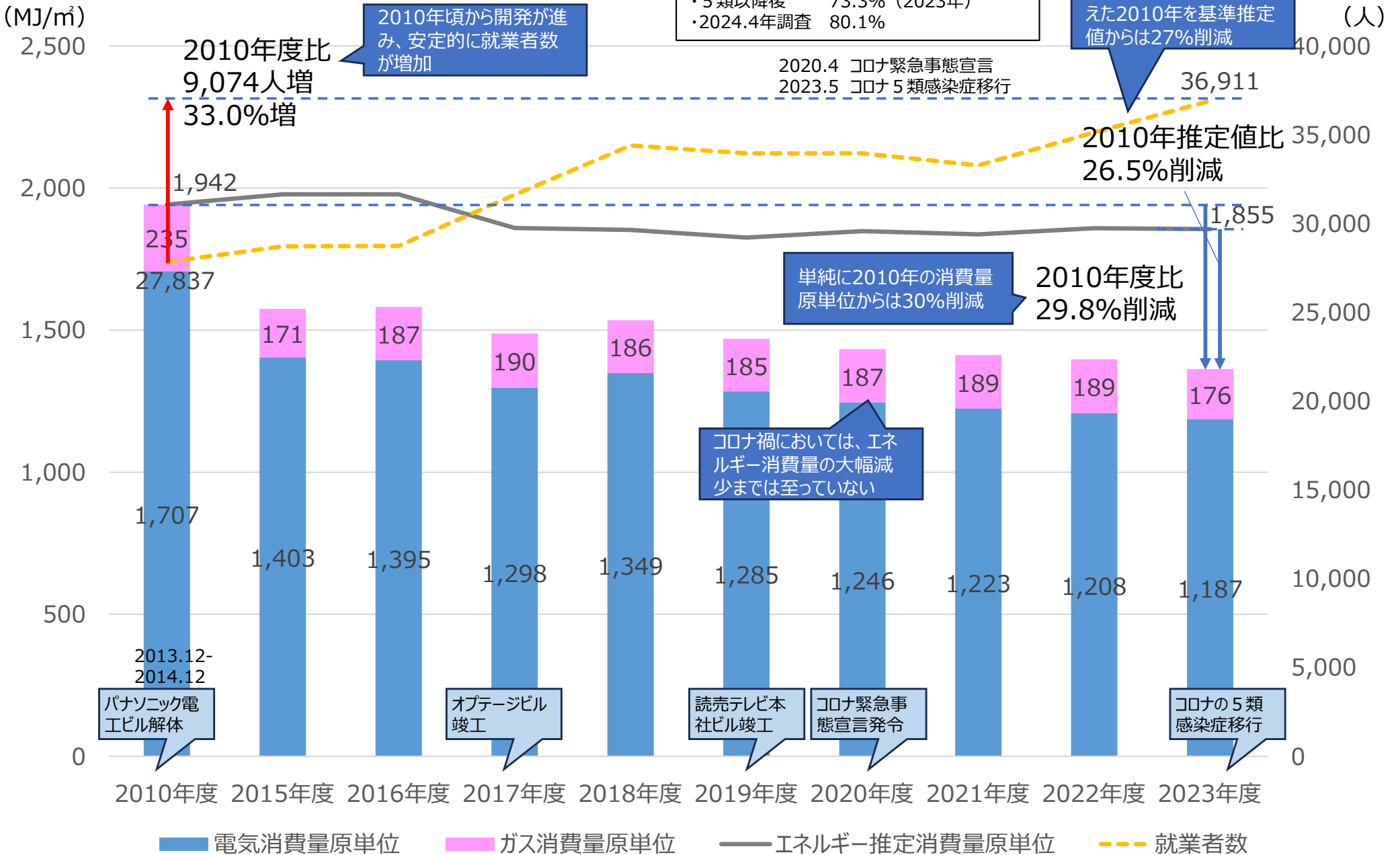
- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3%（2023年）
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

就業者数増加等を踏まえた2010年を基準推定値からは15%削減



年間1次エネルギー消費量原単位 と就業者数の推移（単体オフィスビルのみ）

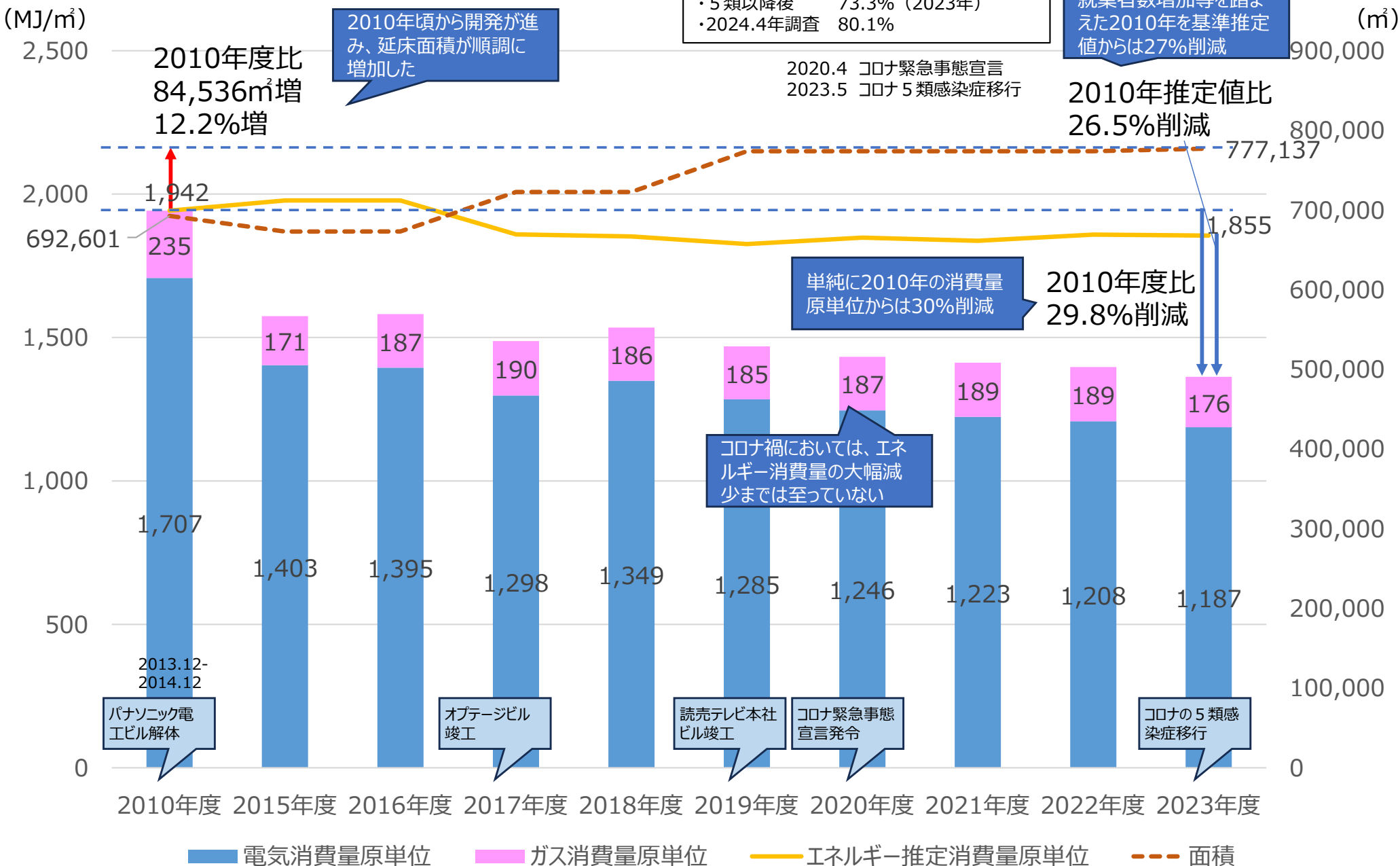


イトーキ中央研究所調べ（2024.5.23発表）
毎日出社する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3%（2023年）
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

年間1次エネルギー消費量原単位 と就業者数の推移（単体オフィスビルのみ）



イトーキ中央研究所調べ（2024.5.23発表）
毎日出社する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3%（2023年）
- ・2024.4年調査 80.1%

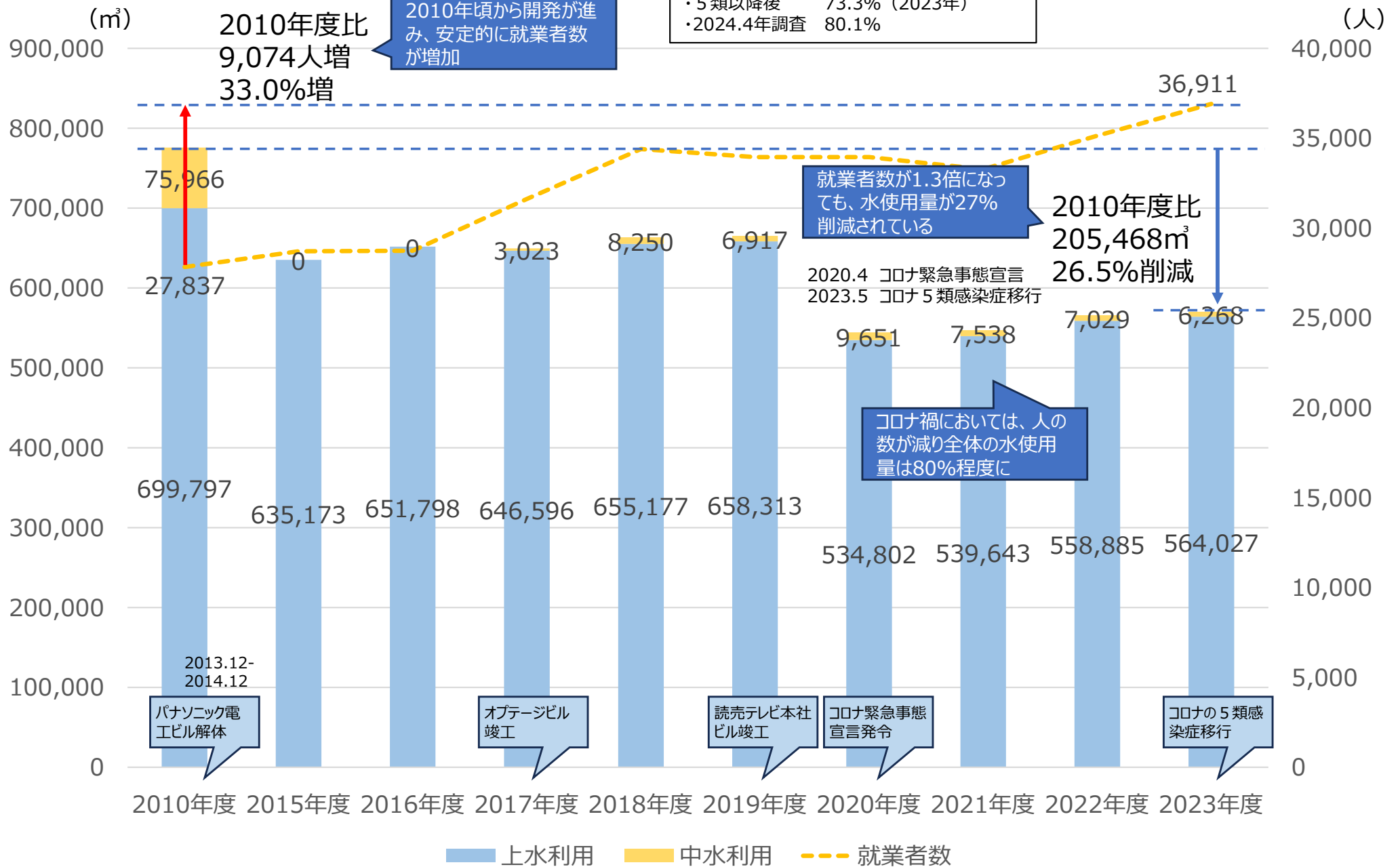
CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

水使用量と就業者数の推移 (単体オフィスビルのみ)

イトーキ中央研究所調べ (2024.5.23発表)
毎日出勤する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3% (2023年)
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

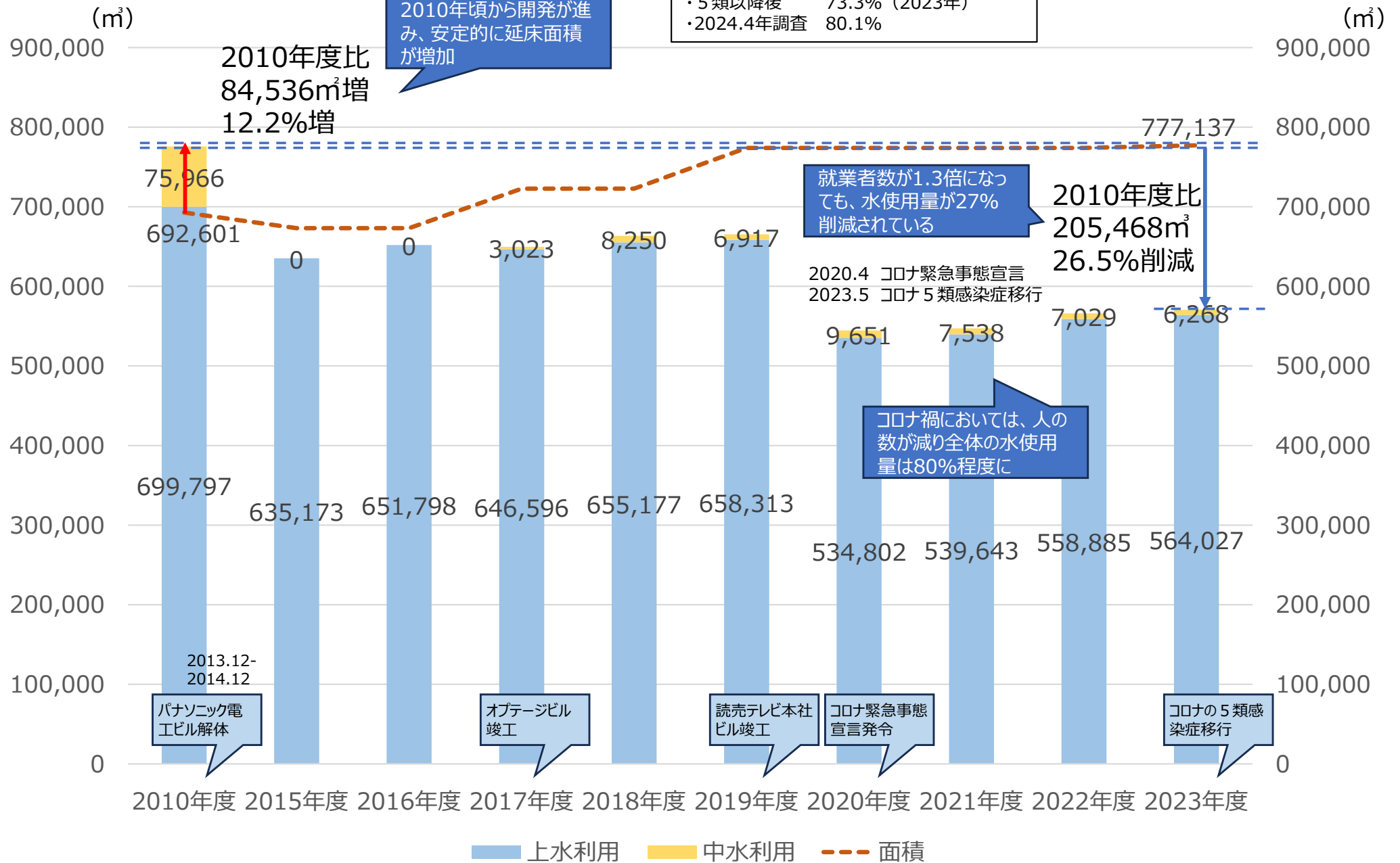


水使用量と面積の推移 (単体オフィスビルのみ)

イトーキ中央研究所調べ (2024.5.23発表)
毎日出社する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3% (2023年)
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

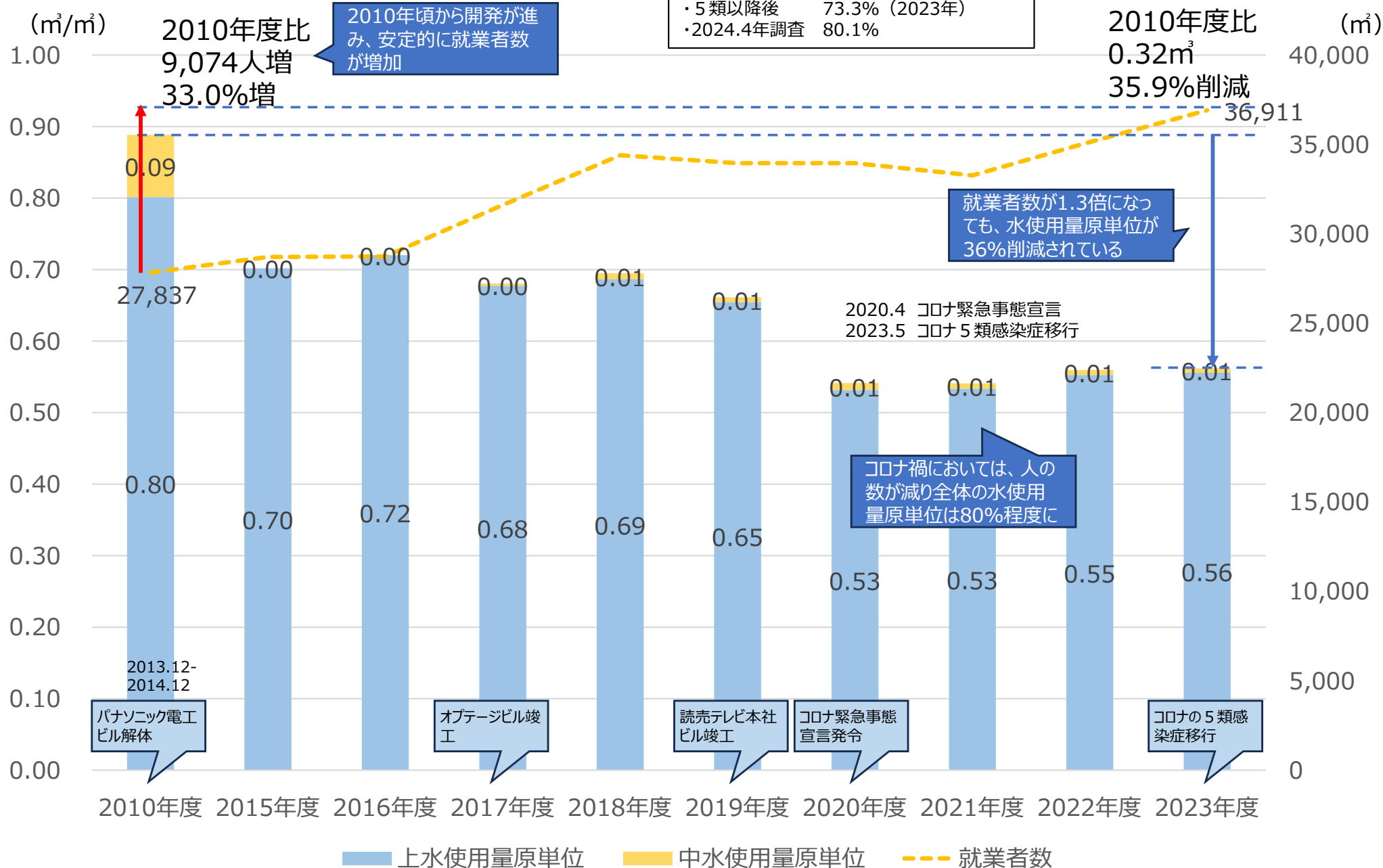


水使用量原単位と就業者数の推移 (単体オフィスビルのみ)

イトーキ中央研究所調べ (2024.5.23発表)
毎日出社する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3% (2023年)
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY

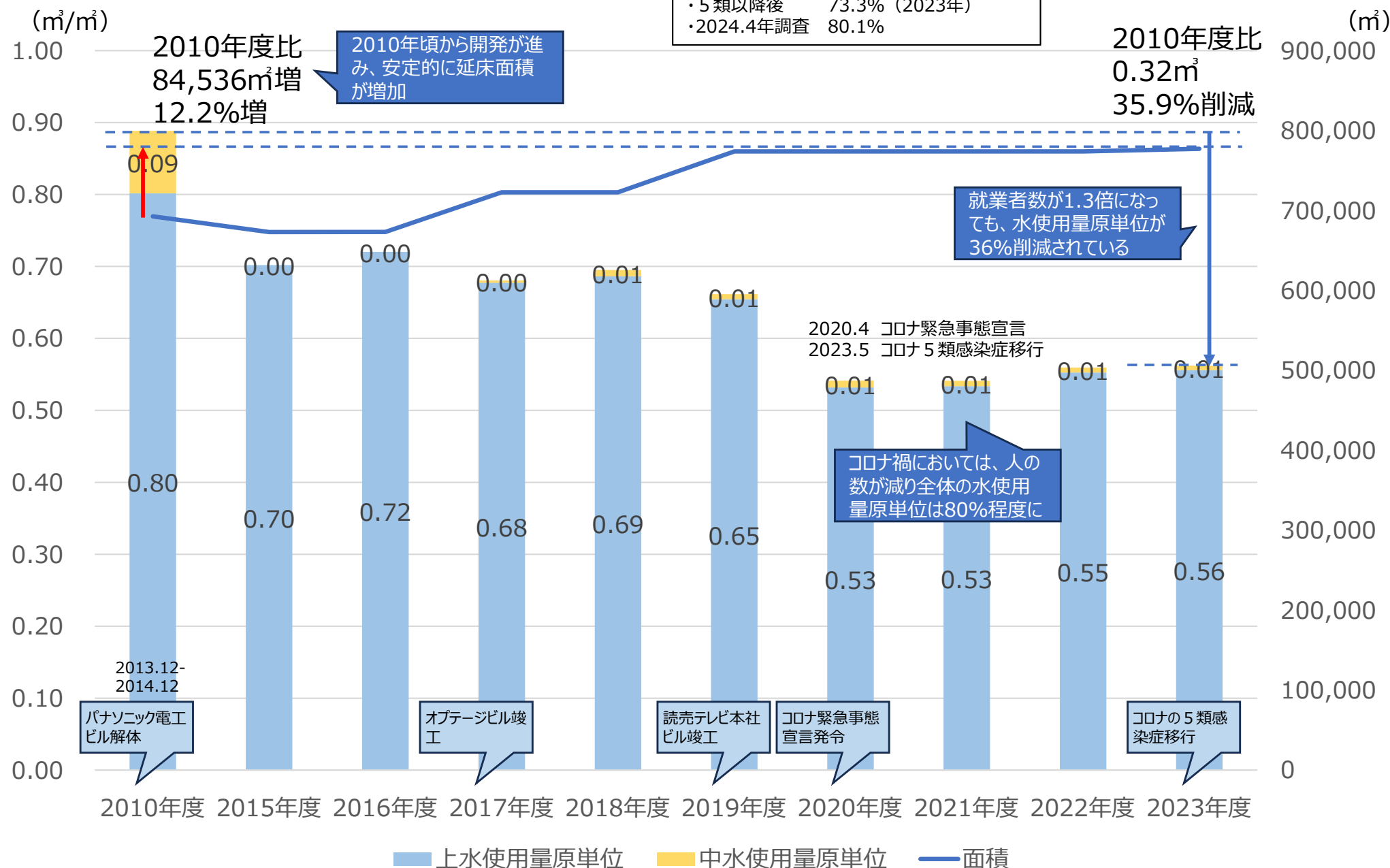


水使用量原単位と就業者数の推移 (単体オフィスビルのみ)

イトーキ中央研究所調べ (2024.5.23発表)
毎日出社する人の割合

- ・コロナ禍前 83.2%
- ・コロナ禍中 58.4%
- ・5類以降後 73.3% (2023年)
- ・2024.4年調査 80.1%

CONFIDENTIAL OBP Council ONLY



OBP簡易AEMS事業（オフィスビル）の総括

□OBPの開発状況

- ・就業者数としては、2023年度までに約9,100人増加（2010年比33.0%増）
- ・延床面積としては、2023年度までに約84,500㎡増加（2010年比12.2%増）

□1次エネルギー消費量

- ・消費量としては、就業者の増加や延床面積の増加にも関わらず、2023年度までに2010年比21.2%削減している
- ・消費量原単位としては、就業者の増加によるエネルギー利用の増加が加味されているものの、2023年度までに2010年比26.5%の削減している
- 就業者数増、延床面積増も建替えや各ビルでの設備機器の更新等によりエネルギー使用削減がはかられている
- 2010年をベースに、就業者数の増加要因を入れた2010年ベース推定値と比較すると、消費量及び消費量原単位共に26.5%程度削減されていると考えられる
- ・コロナ禍においては、数パーセント程度の減少にとどまっており、人が少なくなったとしても1次エネルギー消費量が大きく減る運用はできなかったと考えられる

□水使用量

- ・水使用量としては、2023年度までに2010年比26.5%減少している
- ・水使用量原単位としては、2023年度までに2010年比35.9%減少している
- 就業者数増、延床面積増も建替えや各ビルでの節水型設備機器やトイレの導入等により水使用量が大幅削減されている
- ・コロナ禍においては、エネルギー消費量とは対照的に全体の水使用量、水使用量原単位共に80%程度と大幅に減少しており、出社率等と連動した動きをしているものと推察される

□総括

- ・2010年以降、10年以上にわたってエネルギー消費量及び水使用量についてエリアとして調査・比較検討を実施してきたが、OBPの開発や就業者数との関係性、コロナ禍におけるエネルギー消費量・水使用量の動きを把握することができた
- ・一方で、現状では大幅にエネルギー消費量・水使用量を減らす施策はすでに打たれている状況と言え、今後は次の建替えや大幅な設備更新をにらみながら、5年置き程度の定期的にエリアとしてのエネルギー消費量・水使用量の把握を推進したい
- ・ホテルやデータセンター等の特殊なビルディングタイプを除いた形に絞る方向性も模索したい